平成２４年１月１８日

薬事・食品衛生審議会
　食品衛生分科会長　岸　玲子　殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
　農薬・動物用医薬品部会長　大野　泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会報告について

　平成２３年１２月１２日付け厚生労働省発食安１２１２第５号をもって諮問された、食品衛生法（昭和２２年法律第２３３号）第１１条第１項の規定に基づくシアゾファミドに係る食品規格（食品中の農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

シアゾファミド

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

１．概要

（１）品目名：シアゾファミド[Cyazofamid(ISO)]

（２）用途：殺菌剤

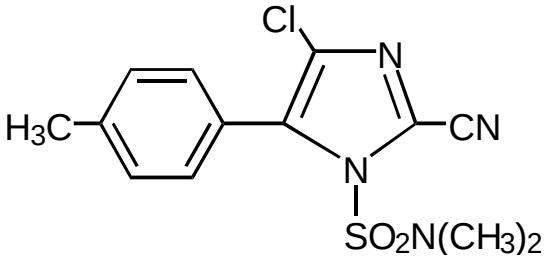
シアノイミダゾール系化合物の殺菌剤である。ミトコンドリアにおける電子伝達系を阻害することにより殺菌作用を示すと考えられる。

（３）化学名:

4-chloro-2-cyano-*N,N*-dimethyl-5-*p*-tolylimidazole-1-sulfonamide (IUPAC)

4-chloro-2-cyano-*N,N*-dimethyl-5-(4-methylphenyl)-1*H*-imidazole-1-sulfonamide (CAS)

（４）構造式及び物性



分子式	$C_{13}H_{13}ClN_4O_2S$
分子量	324.8
水溶解度	0.121 mg/L (pH 5,20℃)
	0.107 mg/L (pH 7,20℃)
	0.109 mg/L (pH 9,20℃)
分配係数	$\log_{10}$Pow ＝ 3.2 (25℃)

（メーカー提出資料より）

２．適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

作物名となっているものについては、今回農薬取締法(昭和23年法律第82号)に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

（１）国内での使用方法

① 9.4%シアゾファミド水和剤

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>希釈倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の使用回数</th><th>使用方法</th><th>ｼｱｿﾞﾌｧﾐﾄﾞを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td>ぶどう</td><td>べと病</td><td>1000～2000 倍</td><td rowspan="3">200～700 L/10a</td><td>収穫 14 日前まで</td><td rowspan="6">3 回以内</td><td rowspan="5">散布</td><td rowspan="6">3 回以内</td></tr>
<tr><td>かんきつ</td><td>褐色腐敗病</td><td rowspan="2">2000 倍</td><td rowspan="2">収穫前日まで</td></tr>
<tr><td>いちじく</td><td>疫病</td></tr>
<tr><td rowspan="3">小麦</td><td rowspan="3">褐色雪腐病</td><td>1000 倍</td><td>100 L/10a</td><td rowspan="3">根雪前</td></tr>
<tr><td>250 倍</td><td>25 L/10a</td></tr>
<tr><td>8 倍</td><td>0.8 L/10a</td><td>無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布</td></tr>
<tr><td rowspan="2">あずき</td><td rowspan="2">茎疫病</td><td>原液</td><td>種子重量の 2%</td><td>は種前</td><td>1 回</td><td>種子塗沫</td><td rowspan="2">4 回以内(種子への処理は 1 回以内、散布は 3 回以内)</td></tr>
<tr><td>1000 倍</td><td rowspan="2">100～300 L/10a</td><td rowspan="4">収穫 7 日前まで</td><td>3 回以内</td><td rowspan="4">散布</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ばれいしょ</td><td rowspan="4">疫病</td><td>1000～2000 倍</td><td rowspan="4">4 回以内</td><td rowspan="5">4 回以内</td></tr>
<tr><td>375 倍</td><td>25 L/10a</td></tr>
<tr><td>600 倍</td><td>40 L/10a</td></tr>
<tr><td>32 倍</td><td>3.2 L/10a</td><td>無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布</td></tr>
<tr><td>きゅうり</td><td rowspan="2">べと病</td><td rowspan="2">1000～2000 倍</td><td rowspan="2">150～300 L/10a</td><td rowspan="2">収穫前日まで</td><td rowspan="2">散布</td></tr>
<tr><td>メロン</td></tr>
<tr><td>すいか</td><td>褐色腐敗病</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病
害虫名</th><th>希釈倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用方法</th><th>ｼｱｿﾞﾌｧﾐﾄﾞを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td>かぼちゃ</td><td>べと病
疫病</td><td>2000 倍</td><td>150～300
L/10a</td><td>収穫前日
まで</td><td>3 回以内</td><td>散布</td><td>3 回以内</td></tr>
<tr><td>トマト
ミニトマト</td><td rowspan="2">疫病</td><td>1000～
2000 倍</td><td rowspan="3">150～300
L/10a</td><td rowspan="3">収穫前日
まで</td><td rowspan="4">4 回以内</td><td rowspan="4">散布</td><td rowspan="4">4 回以内</td></tr>
<tr><td>ピーマン
とうがらし類</td><td rowspan="3">2000 倍</td></tr>
<tr><td>なす</td><td>褐色腐敗病</td></tr>
<tr><td>たまねぎ</td><td>べと病
白色疫病</td><td>100～300
L/10a</td><td>収穫 7 日
前まで</td></tr>
<tr><td rowspan="2">キャベツ</td><td>べと病</td><td>2000 倍</td><td>100～300
L/10a</td><td>収穫 3 日
前まで</td><td>4 回以内</td><td>散布</td><td rowspan="2">5 回以内
（散布は 4 回
以内、灌注
（育苗ﾄﾚｲ）
は 1 回以内）</td></tr>
<tr><td>根こぶ病</td><td>500 倍</td><td>ｾﾙ成型育苗ﾄ
ﾚｲ 1 箱または
ﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ 1
冊（30×60
cm、使用土壌
約 2.5～7L）
当り 2 L</td><td>定植前日
～
当日</td><td>1 回</td><td>灌注</td></tr>
<tr><td>ほうれんそう</td><td rowspan="2">べと病</td><td rowspan="2">2000 倍</td><td rowspan="2">100～300
L/10a</td><td rowspan="2">収穫 3 日
前まで</td><td>3 回以内</td><td rowspan="2">散布</td><td>3 回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="3">はくさい</td><td>4 回以内</td><td rowspan="3">6 回以内
（散布は 4 回
以内、灌注
（本圃）は 1 回
以内、灌注
（育苗ﾄﾚｲ）は
1 回以内）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">根こぶ病</td><td>250 mL/株</td><td>定植時</td><td rowspan="2">1 回</td><td rowspan="2">灌注</td></tr>
<tr><td>500 倍</td><td>ｾﾙ成型育苗ﾄ
ﾚｲ 1 箱または
ﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ 1
冊（30×60
cm、使用土壌
約 2.5～7 L）
当り 2 L</td><td>定植前日
～
当日</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用
病害虫名</th><th>希釈
倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用方法</th><th>ｼｱｿﾞﾌｧﾐﾄﾞを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="2">いちご</td><td rowspan="2">疫病</td><td rowspan="2">500～
1000 倍</td><td>50 mL/株</td><td>育苗期</td><td rowspan="2">2 回以内</td><td rowspan="2">土壌灌注</td><td rowspan="2">4 回以内
（育苗期は 2
回以内、
定植後は 2 回
以内）</td></tr>
<tr><td>100 mL/株</td><td>生育期
但し、収
穫 30 日
前まで</td></tr>
<tr><td>非結球
あぶらな科
葉菜類
（はたけなを
除く）</td><td rowspan="4">白さび病</td><td rowspan="4">2000 倍</td><td rowspan="4">100～300
L/10a</td><td>収穫 3 日
前まで</td><td rowspan="4">3 回以内</td><td rowspan="4">散布</td><td rowspan="3">3 回以内</td></tr>
<tr><td>はたけな</td><td>収穫 7 日
前まで</td></tr>
<tr><td>なばな類
（なばなを除
く）</td><td rowspan="2">収穫 3 日
前まで</td></tr>
<tr><td rowspan="2">なばな</td><td rowspan="2">根こぶ病</td><td rowspan="2">500 倍</td><td rowspan="2">ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ 1 箱または
ﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ 1 冊（30×60
cm、使用土壌
約 2.5～7 L）
当り 2 L</td><td rowspan="2">定植前日
～
当日</td><td rowspan="2">1 回</td><td rowspan="2">灌注</td><td rowspan="2">4 回以内
（灌注は 1 回
以内、散布は
3 回以内）</td></tr>
<tr></tr>
<tr><td rowspan="2">ブロッコリー</td><td>べと病</td><td>2000 倍</td><td>100～300
L/10a</td><td>収穫 3 日
前まで</td><td>3 回以内</td><td>散布</td><td rowspan="2">4 回以内
（灌注は 1 回
以内、散布は
3 回以内）</td></tr>
<tr><td>根こぶ病</td><td>500 倍</td><td>ｾﾙ成型育苗ﾄﾚｲ 1 箱または
ﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾟｯﾄ 1 冊（30×60
cm、使用土壌
約 2.5～7 L）
当り 2 L</td><td>定植前日
～
当日</td><td>1 回</td><td>灌注</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病
害虫名</th><th>希釈
倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用
回数</th><th>使用
方法</th><th>ｼｱｿﾞﾌｧﾐﾄﾞを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td>みょうが
(花穂)</td><td rowspan="5">根茎腐敗病</td><td rowspan="4">500 倍</td><td rowspan="2">3 L/㎡</td><td>生育期
但し、収穫 3 日前
まで</td><td rowspan="2">3 回
以内</td><td rowspan="2">土壌
灌注</td><td rowspan="2">3 回以内</td></tr>
<tr><td>みょうが
(茎葉)</td><td>みょうが(花穂)
の収穫 3 日前まで
但し、花穂を収穫
しない場合にあ
っては開花期終
了まで</td></tr>
<tr><td rowspan="2">しょうが</td><td>1～3 L/㎡</td><td rowspan="2">生育期
但し、収穫 30 日
前まで</td><td rowspan="3">3 回
以内</td><td rowspan="3">土壌
灌注</td><td rowspan="3">3 回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="2">500～
1000
倍</td><td>2～3 L/㎡</td></tr>
<tr><td>葉しょうが</td><td>3 L/㎡</td><td>生育期
但し、収穫 3 日前
まで</td></tr>
<tr><td>畑わさび</td><td rowspan="2">白さび病</td><td rowspan="7">2000
倍</td><td rowspan="3">150～300
L/10a</td><td>収穫 7 日前まで</td><td rowspan="2">2 回
以内</td><td rowspan="7">散布</td><td rowspan="2">2 回以内</td></tr>
<tr><td>わさび</td><td>畑育苗期</td></tr>
<tr><td>ねぎ</td><td>べと病</td><td rowspan="5">収穫 3 日前まで</td><td>4 回
以内</td><td>4 回以内</td></tr>
<tr><td>かぶ</td><td>べと病
白さび病</td><td rowspan="4">100～300
L/10a</td><td rowspan="2">3 回
以内</td><td rowspan="2">3 回以内</td></tr>
<tr><td>だいこん</td><td>ワッカ症
白さび病</td></tr>
<tr><td>葉たまねぎ</td><td>べと病</td><td>4 回
以内</td><td>4 回以内</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病
害虫名</th><th>希釈倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用方法</th><th>ｼｱｿﾞﾌｧﾐﾄﾞを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td>とうがん</td><td>疫病</td><td rowspan="2">2000 倍</td><td>150～300
L/10a</td><td>収穫前日
まで</td><td rowspan="2">2 回以内</td><td rowspan="2">散布</td><td rowspan="2">2 回以内</td></tr>
<tr><td>みつば</td><td>べと病</td><td>100～300
L/10a</td><td>収穫3日前
まで
但し、伏せ
込み栽培
は伏せ込
み前まで</td></tr>
<tr><td rowspan="3">だいず</td><td rowspan="2">茎疫病</td><td>原液</td><td>種子重量の
2%</td><td>は種前</td><td>1 回</td><td>種子塗沫</td><td rowspan="6">4 回以内
(種子への処
理は 1 回以
内、散布は
3 回以内)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1000～
2000 倍</td><td rowspan="2">100～300
L/10a</td><td rowspan="2">収穫7日前
まで</td><td rowspan="2">3 回以内</td><td rowspan="2">散布</td></tr>
<tr><td>べと病</td></tr>
<tr><td rowspan="3">えだまめ</td><td rowspan="2">茎疫病</td><td>原液</td><td>種子重量の
2%</td><td>は種前</td><td>1 回</td><td>種子塗沫</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1000～
2000 倍</td><td rowspan="3">100～300
L/10a</td><td rowspan="4">収穫3日前
まで</td><td rowspan="3">3 回以内</td><td rowspan="5">散布</td></tr>
<tr><td rowspan="4">べと病</td></tr>
<tr><td>レタス
非結球ﾚﾀｽ
わけぎ</td><td rowspan="3">2000 倍</td><td>3 回以内</td></tr>
<tr><td>おかひじ
き</td><td>150～300
L/10a</td><td>2 回以内</td><td>2 回以内</td></tr>
<tr><td>はつかだ
いこん</td><td>ワッカ症
白さび病</td><td>100～300
L/10a</td><td>収穫7日前
まで</td><td>1 回</td><td>1 回</td></tr>
</table>

② 34.5%シアゾファミド水和剤

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病
害虫名</th><th>希釈倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用方法</th><th>ｼｱｿﾞﾌｧﾐﾄﾞを
含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ばれいしょ</td><td rowspan="2">疫病</td><td>4000 倍</td><td>100～300
L/10a</td><td rowspan="2">収穫7日前
まで</td><td rowspan="2">4 回以内</td><td rowspan="2">散布</td><td rowspan="2">4 回以内</td></tr>
<tr><td>1000 倍</td><td>25 L/10a</td></tr>
</table>

（２）海外での使用方法

【米国】

作物名	適用病害虫名	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
にんじん	*Pythium ultimo* による病害 しみ腐病 根腐病	43.8mL/10a (17.5g ai/10a)	収穫 14 日前まで	5 回以内	散布
うり類	べと病 疫病	15.5～20.3 mL/10a (6.2～8.1g ai/10a)	収穫当日まで	6 回以内	散布

【台湾】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
パパイヤ	疫病	2000 倍	収穫 12 日前まで	6 回以内	散布

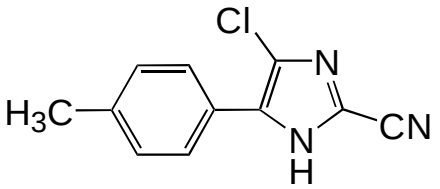
３．作物残留試験

（１）分析の概要

① 分析対象の化合物

・シアゾファミド

・4-クロロ-5-*p*-トリルイミダゾール-2-カルボニトリル（以下、代謝物Ｂという）



代謝物Ｂ

② 分析法の概要

試料からアセトニトリル又はアセトニトリル・水（4：1）混液で抽出し、オクタデシルシリル化シリカゲル（C_{18}）カラム又はジビニルベンゼン-*N*-ビニルピロリドン共重合体（HLB）カラムで精製した後、液体クロマトグラフ・質量分析計（LC-MS）又は液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計（LC-MS/MS）を用いて定量する。代謝物Ｂについては、換算係数1.49を用いてシアゾファミドに換算した値で示す。

定量限界　　シアゾファミド：0.005～0.5 ppm

代　謝　物　Ｂ：0.01～0.05 ppm

（２）作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙１－１、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙１－２を参照。

４．ＡＤＩの評価

食品安全基本法（平成１５年法律第４８号）第２４条第１項第１号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたシアゾファミドに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：17.1 mg/kg 体重/day（発がん性は認められなかった。）
（動物種）　ラット
（投与方法）　混餌投与
（試験の種類）　慢性毒性／発がん性併合試験
（期間）　2 年間
安全係数：100
ＡＤＩ：0.17 mg/kg 体重/day

５．諸外国における状況

ＪＭＰＲ における毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、欧州連合（ＥＵ）、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてばれいしょ、なす科野菜、うり科野菜等、カナダにおいてばれいしょ、トマト、うり科野菜等、ＥＵにおいてトマト、うり科野菜等について基準値が設定されている。

６．基準値案

（１）残留の規制対象

シアゾファミドとする。

一部の作物残留試験においてシアゾファミド及び代謝物Ｂの分析が行われているが、代謝物Ｂはシアゾファミドと比較して十分に低い残留量であることから、規制対象として代謝物Ｂを含めないこととした。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においても、農産物中の暴露評価対象物質としてシアゾファミド（親化合物のみ）を設定している。

（２）基準値案

別紙２のとおりである。

（３）暴露評価

各食品について基準値案の上限までシアゾファミドが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量（理論最大1日摂取量（ＴＭＤＩ））のＡＤＩに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下に行った。

	ＴＭＤＩ／ＡＤＩ（%）注)
国民平均	12.3
幼小児（1～6 歳）	22.7
妊婦	9.4
高齢者（65 歳以上）	13.1

注）ＴＭＤＩ試算は、基準値案×各食品の平均摂取量の総和として計算している。

（別紙1-1）

シアゾファミド作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量[注1)] (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	シアゾファミド／代謝物B
きゅうり（果実）	2	9.4%水和剤	1000倍 散布 200L/10a	4回	1,3,7日	圃場A：0.08／0.01
						圃場B：0.23／<0.01
メロン（果実）	2	9.4%水和剤	1000倍 散布 200L/10a	4回	1,3,7日	圃場A：<0.01／<0.01
						圃場B：<0.01／<0.01
トマト（果実）	2	9.4%水和剤	1000倍 散布 200L/10a	4回	1,3,7日	圃場A：0.18／<0.01
						圃場B：0.52／0.01
ばれいしょ（塊茎）	2	9.4%水和剤	1000倍 散布 200L/10a	4回	7,14,21日	圃場A：<0.01／<0.01
						圃場B：<0.01／<0.01
ばれいしょ（塊茎）	2	9.4%水和剤	*250倍* 散布 25L/10a	4回	7,14,21日	圃場A：<0.01／<0.01(4回、7日)(#)[注2)]
						圃場B：<0.01／<0.01(4回、7日)(#)
ばれいしょ（塊茎）	2	9.4%水和剤	32倍 無人ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰによる散布 3.0-3.2L/10a	4回	3,7,14日	圃場A：<0.01／<0.01
						圃場B：<0.01／<0.01
小粒ぶどう（果実）	2	9.4%水和剤	1000倍 散布 300L/10a	3回	14,21,28日	圃場A：6.36*／0.07(*3回、21日)
						圃場B：1.90*／0.02(*3回、21日)
大粒ぶどう（果実）	2	9.4%水和剤	1000倍 散布 300L/10a	3回	14,21,28日	圃場A：0.53*／0.01(*3回、21日)
						圃場B：1.26／0.01
はくさい（茎葉）	2	9.4%水和剤	500倍 灌注 2L/ｾﾙﾄﾚｲ +2000倍 散布 300L/10a	1+4回	14,21,28日	圃場A：0.02／<0.01
						圃場B：0.24／<0.01
はくさい（茎葉）	2	9.4%水和剤	500倍 灌注 2L/ｾﾙﾄﾚｲ +2000倍 植付時株元灌注 250mL/株 +2000倍 散布 200,300L/10a	1+1+4回	14,21,28日	圃場A：0.08／<0.01(6回、14日)
						圃場B：0.32／<0.01(6回、14日)
はくさい（茎葉）	2	9.4%水和剤	*250倍* 灌注 1L/ｾﾙﾄﾚｲ +2000倍 植付時株元灌注 250mL/株 +2000倍 散布 200L/10a	1+1+4回	3,7,14日	圃場A：0.10／<0.01(6回、3日)(#)
						圃場B：0.72／<0.01(6回、3日)(#)
たまねぎ（鱗茎）	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 200L/10a	4回	7,14,21日	圃場A：<0.01／<0.01
						圃場B：<0.01／<0.01
ピーマン（果実）	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 200L/10a	4回	1,3,7日	圃場A：0.33／0.01
						圃場B：0.22／<0.01
すいか（果肉）	2	9.4%水和剤	1000倍 散布 200,217.7L/10a	4回	1,3,7日	圃場A：<0.01／<0.01
						圃場B：<0.01／<0.01
キャベツ（茎葉）	2	9.4%水和剤	500倍 灌注 2L/ｾﾙﾄﾚｲ	1回	75日	圃場A：<0.01／<0.01(1回、75日)
					97日	圃場B：<0.01／<0.01(1回、97日)
キャベツ（茎葉）	2	9.4%水和剤	*250倍* 灌注 1L/ｾﾙﾄﾚｲ +2000倍 植付時株元灌注 250mL/株 +2000倍 散布 150-250, 80-200L/10a	*1+1+4*回	3,7,14日	圃場A：0.28／<0.01(6回、3日)(#)
						圃場B：0.16／<0.01(6回、3日)(#)
小麦（玄麦）	2	9.4%水和剤	1000倍 散布 100L/10a	3回	239日	圃場A：<0.01／<0.01(3回、239日)
					187日	圃場B：<0.01／<0.01(3回、187日)
小麦（玄麦）	2	9.4%水和剤	250倍 散布 25L/10a	3回	267日	圃場A：<0.01／<0.01(3回、267日)
					255日	圃場B：<0.01／<0.01(3回、255日)
小麦（玄麦）	2	9.4%水和剤	8倍 無人ヘリ散布 0.8,*0.86-0.90*L/10a	3回	244日	圃場A：<0.01／<0.01(3回、244日)
					117日	圃場B：<0.01／<0.01(3回、117日)(#)
なばな（茎葉・花蕾）	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 *400*,200L/10a	3回	3,7,14日	圃場A：0.02／－(3回、3日)(#)
						圃場B：1.16／－(3回、3日)(#)
なばな（花蕾）	2	9.4%水和剤	500倍 灌注 2L/ｾﾙﾄﾚｲ +2000倍 散布 300L/10a	1+3回	*1*,3,7日	圃場A：0.62／－
						圃場B：0.84／－
はたけな（茎葉）	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 300L/10a	3回	1,3,7,14日	圃場A：2.3／－
						圃場B：8.5／－
はたけな（花蕾）	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 300L/10a	3回	1,3,7,14日	圃場A：1.3／－
						圃場B：1.5／－
こまつな（茎葉）	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 150,100L/10a	3回	1,3,7日	圃場A：9.10／0.18*(*3回、7日)
						圃場B：3.76／0.05
ほうれんそう（茎葉）	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 150,134.7L/10a	3回	1,3,7日	圃場A：16.2／0.44
						圃場B：7.17*／0.16(*3回、7日)
なす（果実）	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 200L/10a	4回	1,3,7日	圃場A：0.11／<0.01
						圃場B：0.10／<0.01
ちんげんさい（茎葉）	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 200L/10a	3回	1,3,7日	圃場A：1.02／0.04
						圃場B：0.76／0.02
みずな（茎葉）	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 200L/10a	3回	1,3,7日	圃場A：1.85／0.08
						圃場B：4.94／0.09
いちご（果実）	2	9.4%水和剤	500倍 灌注 50mL/ﾎﾟｯﾄ +500倍 灌注 100mL/株	2+2回	30,37,44日	圃場A：0.29／0.01
						圃場B：<0.01／<0.01
あずき（乾燥子実）	2	9.4%水和剤	原液 播種時種子乾粉衣 種子重量2% +1000倍 散布 150,200L/10a	1+3回	7,14,21日	圃場A：0.02／<0.01
						圃場B：0.02／<0.01

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量[注1)] (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	シアゾファミド／代謝物B
かぼちゃ (果実)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 300L/10a	3回	1,3,7日	圃場A：0.06／<0.01 圃場B：0.17／<0.01
ブロッコリー (花蕾)	2	9.4%水和剤	500倍 灌注 2L/ｾﾙﾄﾚｲ +2000倍 散布 200L/10a	1+3回	3,7,14日	圃場A：0.24／0.02 圃場B：0.40／0.02
みょうが (花穂)	2	9.4%水和剤	500倍 土壌灌注 3000L/10a	3回	3,7,14日	圃場A：0.89／0.02 圃場B：3.50／0.07
しょうが (塊茎)	2	9.4%水和剤	500倍 土壌灌注 3000L/10a	3回	30,45,60日	圃場A：0.23*／<0.01(*3回、45日) 圃場B：0.04／<0.01
温州みかん (外果皮)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 500L/10a	3回	1,7,14日	圃場A：3.38*／0.12(*3回、7日) 圃場B：1.51／<0.05
温州みかん (果肉)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 500L/10a	3回	1,7,14日	圃場A：0.25／<0.01 圃場B：0.05／<0.01
すだち (果実)	1	9.4%水和剤	2000倍 散布 500L/10a	3回	1,7,14日	圃場A：1.06／<0.01
かぼす (果実)	1	9.4%水和剤	2000倍 散布 640L/10a	3回	1,7,13日	圃場A：0.35／<0.01
レモン (果実)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 300L/10a	3回	1,7,14日	圃場A：2.03／0.03 圃場B：0.33／0.04*(*3回、14日)
夏みかん (果実)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 500L/10a	4回 3回	1,7,14日	圃場A：0.54*／0.02(*4回、1日)(#) 圃場B：0.47*／0.02**(*3回、7日 **3回、14日)
畑わさび (茎葉)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 300L/10a	2回	3,7,14日	圃場A：6.29／－ 圃場B：3.06／－
畑わさび (根茎)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 300L/10a	2回	3,7,14日	圃場A：0.70／－ 圃場B：0.49／－
畑わさび (花、花茎及び葉)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 200,300L/10a	2回	3,7,14日	圃場A：3.58／<0.05 圃場B：9.96／0.08
ねぎ (茎葉)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 200L/10a	4回	3,7,14日	圃場A：0.36／0.02 圃場B：0.88／0.01(4回、7日)
ししとう (果実)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 200L/10a	4回	1,3,7日	圃場A：0.30／－ 圃場B：0.46／－
とうがん (果実)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 250L/10a	2回	1,3,7日	圃場A：0.02／－ 圃場B：0.02／－
いちじく (果実)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 300L/10a	3回	1,3,7日	圃場A：0.18／－ 圃場B：0.40／－
だいこん (根)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 150-200,200L/10a	3回	3,7,14日	圃場A：<0.01／<0.01 圃場B：<0.01／<0.01
だいこん (葉)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 150-200,200L/10a	3回	3,7,14日	圃場A：5.07／0.05 圃場B：3.54／0.04
はつかだいこん (根)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 100L/10a	1回	3,7,14日	圃場A：<0.005／－ 圃場B：<0.005／－
はつかだいこん (葉)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 100L/10a	1回	3,7,14日	圃場A：1.5／－ 圃場B：2.1／－
かぶ (根)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 150,200L/10a	3回	3,7,14日	圃場A：0.08／<0.01 圃場B：0.06／<0.01
かぶ (葉)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 150,200L/10a	3回	3,7,14日	圃場A：14.6／0.08 圃場B：9.72／0.10
葉たまねぎ (葉及び鱗茎)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 150,120-150L/10a	4回	3,7,14日	圃場A：1.28／－ 圃場B：0.88／－
ミニトマト (果実)	2	9.4%水和剤	1000倍 散布 200,300L/10a	4回	1,3,7日	圃場A：1.00／0.01 圃場B：0.72／<0.01
だいず (乾燥子実)	2	9.4%水和剤	1000倍 散布 200,250L/10a	3回	6,14,21日 7,14,21日	圃場A：0.06／<0.01(3回、6日)(#) 圃場B：0.04*／<0.01(*3回、14日)
だいず (乾燥子実)	2	9.4%水和剤	原液 播種時種子塗沫 種子重量2%	1回	140,147,154日 116,123,130日	圃場A：<0.01／<0.01(1回、140日) 圃場B：<0.01／<0.01(1回、116日)
レタス (茎葉)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 200L/10a	3回	3,7,14日	圃場A：2.76／<0.01 圃場B：0.10／<0.01
サラダ菜 (茎葉)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 150,200L/10a	3回	3,7,14日	圃場A：5.17／－ 圃場B：2.44／－
リーフレタス (茎葉)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 200,130L/10a	3回	3,7,14日	圃場A：1.26／－ 圃場B：2.18／－
わけぎ (茎葉)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 200L/10a	3回	3,7,14日	圃場A：0.75／－ 圃場B：1.64／－
みつば (茎葉)	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 200L/10a	2回	3,7,14日	圃場A：2.04／－ 圃場B：3.46／－

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量注1)（ppm）
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	シアゾファミド／代謝物Ｂ
とうがらし（果実）	1	9.4%水和剤	2000倍 散布 200L/10a	4回	1,3,7日	圃場A：0.37／－
とうがらし（果実）	1	9.4%水和剤	2000倍 散布 200L/10a	4回	1,3,7日	圃場A：0.80／－
とうがらし（果実）	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 200L/10a	2回	1,3,7日	圃場A：0.68／－(2回、1日)
						圃場B：0.24／－(2回、1日)
葉しょうが（根茎・茎）	2	9.4%水和剤	500倍 土壌灌注 3000L/10a	3回	3,14,30,45日	圃場A：1.38／－
						圃場B：0.99／－
えだまめ（さや）	2	9.4%水和剤	1000倍 散布 150,176-200L/10a	3回	3,7,14日	圃場A：2.34*／0.02(*3回、7日)
						圃場B：0.40／<0.05
えだまめ（さや）	2	9.4%水和剤	原液 播種時種子塗沫 種子重量2%	1回	72,79,86日	圃場A：<0.01／<0.01(1回、72日)
					88,95,102日	圃場B：<0.01／<0.01(1回、88日)
おかひじき（茎葉）	2	9.4%水和剤	2000倍 散布 200L/10a	2回	3,7,14日	圃場A：4.4／－
						圃場B：3.8／－

注1)最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成１０年８月７日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（　）内に記載した。

注2)(#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注3）今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

（別紙1-2）

シアゾファミド海外作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量[注1)] (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	シアゾファミド／代謝物Ｂ
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	17.4g ai/10a 土壌散布＋17.8、18.0、16.47、17.0g ai/ha 散布	5回	15日	圃場A:<0.01／<0.01
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	17.7g ai/10a 土壌散布＋16.7、17.7、16.5、16.7g ai/ha 散布	5回	15日	圃場A:<0.01／<0.01
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	*17.6g ai/10a 土壌散布＋17.3、17.6、18.0、17.9g ai/ha 散布*	5回	14日	圃場A:0.023／<0.01(#)[注2)]
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	*17.8g ai/10a 土壌散布＋17.8、17.1、18.2、17.3g ai/ha 散布*	5回	15日	圃場A:<0.01／<0.01(#)
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	17.5g ai/10a 土壌散布＋17.4、17.7、17.4、17.4g ai/ha 散布	5回	14日	圃場A:0.027／<0.01
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	*17.4g ai/10a 土壌散布＋17.8、18.0、17.9、18.0g ai/ha 散布*	5回	16日	圃場A:<0.01／<0.01(#)
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	*17.2g ai/10a 土壌散布＋17.6、17.8、17.5、17.6g ai/ha 散布*	5回	16日	圃場A:<0.01／<0.01(#)
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	*17.4g ai/10a 土壌散布＋18.0、18.3、17.6、18.4g ai/ha 散布*	5回	14日	圃場A:<0.01／<0.01(#)
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	17.3g ai/10a 土壌散布＋17.5、17.5、17.7、17.4g ai/ha 散布	5回	13日	圃場A:0.040／<0.01
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	*17.3g ai/10a 土壌散布＋17.9、17.4、17.4、17.6g ai/ha 散布*	5回	13日	圃場A:0.035／<0.01(#)
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	*17.9g ai/10a 土壌散布＋18.1、18.6、17.8、18.1g ai/ha 散布*	5回	14日	圃場A:0.026／<0.01(#)
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	17.4g ai/10a 土壌散布＋17.9、17.4、17.3、17.5g ai/ha 散布	5回	14日	圃場A:0.045／<0.01
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	*17.9 ai/10a 土壌散布＋17.7、17.6、17.7、17.7g ai/ha 散布*	5回	14日	圃場A:0.033／<0.01(#)
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	*16.8g ai/10a 土壌散布＋17.7、17.3、17.6、18.2g ai/ha 散布*	5回	14日	圃場A:<0.01／<0.01(#)
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	*17.0g ai/10a 土壌散布＋17.7、17.2、17.9、17.8g ai/ha 散布*	5回	14日	圃場A:<0.01／<0.01(#)
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	18.0g ai/10a 土壌散布＋18.1、17.0、16.9、16.7g ai/ha 散布	5回	13日	圃場A:0.030／<0.01
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	*17.4g ai/10a 土壌散布＋17.7、17.6、16.3、18.6g ai/ha 散布*	5回	15日	圃場A:<0.01／<0.01(#)
にんじん（根部）	1	34.5%水和剤	*17.6g ai/10a 土壌散布＋18.3、18.0、17.4、18.2g ai/ha 散布*	5回	15日	圃場A:<0.01／<0.01(#)
パパイヤ（果実）	1	9.4%水和剤	－	4回	12日	圃場A:0.10(#)

注1）最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成１０年８月７日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（　）内に記載した。

注2）(#)印で示した作物残留試験成績は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

農薬名　シアゾファミド　（別紙2）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 外国基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
小麦	0.05	0.05	○				<0.01, <0.01
大豆	0.3	0.3	○				0.06($), 0.04
小豆類	0.1	0.1	○				0.02, 0.02
ばれいしょ	0.05	0.05	○				<0.01, <0.01
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根	0.05	0.05	○				<0.01, <0.01
だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉	10	10	○				5.07, 3.54
かぶ類の根	0.3	0.3	○				0.08, 0.06
かぶ類の葉	20	20	○				14.6, 9.72
はくさい	2	2	○				0.10, 0.72($)
キャベツ	0.7	0.7	○				0.28(#), 0.16(#)
ケール	15	15	○				(こまつな参照)
こまつな	15	15	○				9.10($), 3.76
きょうな	10	10	○				1.85, 4.94
チンゲンサイ	3	3	○				1.02($), 0.76
ブロッコリー	1	1	○				0.24, 0.40
その他のあぶらな科野菜	15	15	○				2.3, 8.5($)(はたけな)
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	10	10	○				5.17, 2.44(サラダ菜)
たまねぎ	0.05	0.05	○				<0.01, <0.01
ねぎ(リーキを含む。)	2	2	○				0.36, 0.88
わけぎ	5	5	○				0.75, 1.64($)
その他のゆり科野菜	3	3	○				1.26, 0.88(葉たまねぎ)
にんじん	0.09	0.09			0.09	アメリカ	【<0.01-0.045(n=18)(米国)】
みつば	10	10	○				2.04, 3.46($)
トマト	2	2	○				1.00, 0.72(ミニトマト)
ピーマン	1	1	○				0.33($), 0.22
なす	0.5	0.5	○				0.11, 0.10
その他のなす科野菜	2	2	○				0.68($),0.24(とうがらし)
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.7	0.7	○				0.08, 0.23($)
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.5	0.1	申				0.06, 0.17 【<0.01-0.05(n=4) (米国ぺぽかぼちゃ)】
しろうり	0.1	0.1			0.1	アメリカ	【米国ぺぽかぼちゃ参照】
すいか	0.05	0.05	○				<0.01, <0.01
メロン類果実	0.05	0.05	○				<0.01, <0.01
まくわうり	0.1	0.1			0.1	アメリカ	【米国ぺぽかぼちゃ参照】
その他のうり科野菜	0.1	0.1	○				0.02, 0.02(とうがん)
ほうれんそう	25	25	○				16.2($), 7.17
しょうが	3	3	○				1.38,0.99(葉しょうが)
えだまめ	5	5	○				2.34($), 0.40
その他の野菜	10	10	○				4.4, 3.8 (おかひじき)
みかん	0.7	0.7	○				0.25($), 0.05
なつみかんの果実全体	2	2	○				0.54(#), 0.47
レモン	5	5	○				2.03($), 0.33
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	5	5	○				(レモン参照)
グレープフルーツ	5	5	○				(レモン参照)
ライム	5	5	○				(レモン参照)
その他のかんきつ類果実	5	5	○				
いちご	0.7	0.7	○				0.29($), <0.01
ぶどう	10	10	○				6.36. 1.90(小粒種)
パパイヤ	0.5	0.5			0.5	台湾	【0.10(#)(台湾)】
その他の果実	1	1	○				0.18, 0.40($)(いちじく)

農薬名　シアゾファミド　（別紙2）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 外国基準値 ppm	作物残留試験成績等 ppm
その他のスパイス	10	10	○			3.38($), 1.51(みかんの果皮)
その他のハーブ	15	15	○			6.29($), 3.06 (畑わさびの茎葉)/ 3.58,9.96 (畑わさびの花、花茎及び葉)

(#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。
($)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。
「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

（別紙３）

シアゾファミド推定摂取量　（単位：μg／人／day）

食品名	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	幼小児 (1～6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
小麦	0.05	5.8	4.1	6.2	4.2
大豆	0.3	16.8	10.1	13.7	17.6
小豆類	0.1	0.1	0.1	0.0	0.3
ばれいしょ	0.05	1.8	1.1	2.0	1.4
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.05	2.3	0.9	1.4	2.9
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	10	22.0	5.0	9.0	34.0
かぶ類の根	0.3	0.8	0.2	0.2	1.3
かぶ類の葉	20	10.0	2.0	6.0	22.0
はくさい	2	58.8	20.6	43.8	63.4
キャベツ	0.7	16.0	6.9	16.0	13.9
ケール	15	1.5	1.5	1.5	1.5
こまつな	15	64.5	30.0	24.0	88.5
きょうな	10	3.0	1.0	1.0	3.0
チンゲンサイ	3	4.2	0.9	3.0	5.7
ブロッコリー	1	4.5	2.8	4.7	4.1
その他のあぶらな科野菜	15	31.5	4.5	3.0	46.5
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	10	61.0	25.0	64.0	42.0
たまねぎ	0.05	1.5	0.9	1.7	1.1
ねぎ（リーキを含む。）	2	22.6	9.0	16.4	27.0
わけぎ	5	1.0	0.5	0.5	1.5
その他のゆり科野菜	3	2.7	0.3	0.3	5.4
にんじん	0.09	2.2	1.5	2.3	2.0
みつば	10	2.0	1.0	1.0	2.0
トマト	2	48.6	33.8	49.0	37.8
ピーマン	1	4.4	2.0	1.9	3.7
なす	0.5	2.0	0.5	1.7	2.9
その他のなす科野菜	2	0.4	0.2	0.2	0.6
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.7	11.4	5.7	7.1	11.6
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.5	4.7	2.9	3.5	5.8
しろうり	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1
すいか	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
メロン類果実	0.05	0.0	0.0	0.01	0.0
まくわうり	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1
ほうれんそう	25	467.5	252.5	435.0	542.5
しょうが	3	1.8	0.6	2.1	2.1
えだまめ	5	0.5	0.5	0.5	0.5
その他の野菜	10	126.0	97.0	96.0	122.0
みかん	0.7	29.1	24.8	32.1	29.8
なつみかんの果実全体	2	0.2	0.2	0.2	0.2
レモン	5	1.5	1.0	1.5	1.5
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	5	2.0	3.0	4.0	1.0
グレープフルーツ	5	6.0	2.0	10.5	4.0
ライム	5	0.5	0.5	0.5	0.5
その他のかんきつ類果実	5	2.0	0.5	0.5	3.0
いちご	0.7	0.2	0.3	0.1	0.1
ぶどう	10	58.0	44.0	16.0	38.0
パパイヤ	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
その他の果実	1	3.9	5.9	1.4	1.7
その他のスパイス	10	1.0	1.0	1.0	1.0
その他のハーブ	15	1.5	1.5	1.5	1.5
計		1110.1	610.3	888.0	1203.2
ADI比（%）		12.3	22.7	9.4	13.1

TMDI：理論最大1日摂取量（Theoretical Maximum Daily Intake）

（参考）

これまでの経緯

平成１３年　４月２６日　初回農薬登録
平成１６年　６月２５日　農林水産省より厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：ほうれんそう及びこまつな）
平成１６年　７月１２日　厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成１６年１１月　４日　食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成１７年　４月２７日　残留農薬基準告示（ほうれんそう及びこまつな）

平成１７年　６月　１日　農林水産省より厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：かんきつ、非結球あぶらな科葉菜類、あずき、ブロッコリー、みょうが、しょうが、畑わさび及びねぎ）
平成１７年　６月１４日　厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成１７年１１月２９日　残留農薬基準告示

平成１８年　５月１１日　食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成１８年１１月２９日　残留農薬基準告示（かんきつ、非結球あぶらな科葉菜類、あずき、ブロッコリー、みょうが、しょうが、畑わさび及びねぎ）
平成１９年　５月１５日　農林水産省より厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：だいず、レタス、わけぎ、みつば、とうがらし類、葉しょうが、えだまめ及びおかひじき）
平成１９年　５月２２日　厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成１９年　９月　６日　食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２０年　４月３０日　残留農薬基準告示（だいず、レタス、わけぎ、みつば、とうがらし類、葉しょうが、えだまめ及びおかひじき）

平成２１年　９月１４日　農林水産省より厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：キャベツ及びはくさい）
平成２１年１０月２０日　インポートトレランス設定の要請（にんじん及びパパイヤ）
平成２１年１０月２７日　厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２２年　３月１８日　食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２２年　９月２１日　農林水産省より厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準

値設定依頼（適用拡大：かぼちゃ）
平成２２年１１月１０日　厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２３年　３月１５日　残留農薬基準告示（キャベツ、はくさい、にんじん及びパパイヤ）
平成２３年　７月２１日　食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２３年１２月１２日　薬事・食品衛生審議会へ諮問
平成２３年１２月２１日　薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
［委員］
石井　里枝　　埼玉県衛生研究所水・食品担当専門研究員
○大野　泰雄　　国立医薬品食品衛生研究所長
尾崎　博　　東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学教室教授
斉藤　貢一　　星薬科大学薬品分析化学教室准教授
佐藤　清　　財団法人残留農薬研究所理事・化学部長
高橋　美幸　　農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所上席研究員
永山　敏廣　　東京都健康安全研究センター食品化学部長
廣野　育生　　東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授
松田　りえ子　　国立医薬品食品衛生研究所食品部長
宮井　俊一　　社団法人日本植物防疫協会技術顧問
山内　明子　　日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部長
由田　克士　　大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
吉成　浩一　　東北大学大学院薬学研究科医療薬学講座薬物動態学分野准教授
鰐渕　英機　　大阪市立大学大学院医学研究科都市環境病理学教授
（○：部会長）